

法人理念		私たちはインクルーシブな社会の構築を目指します		
支援方針		・児童の発達状況に合わせた活動設定をする ・児童の興味関心を療育のベースにする ・実際の社会を意識した環境設定をする ・身体能力を身につけられるようにする ・自己決定を最大限に引き出していく ・利用者主体の支援を重視する		
営業時間		学校がある日（月～金） 学校終了時間～17:30 学校休業日（月～金） 9：00～17:30 土曜日 9：00～17:30	送迎実施の有無	有
支援内容				
本人支援	健康・生活	・排泄介助（同室しての見守り、ふき取り支援、紙パンツ交換、外出先でのトイレ支援） ・爪のケアの仕方や鼻のかみかたの指導、支援 ・体調観察と不調時の対応支援、水分補給の支援 ・手洗いの支援 ・衣服の着脱（前後の確認、衣服を整える）の支援 ・食事中の支援（食事のマナーや箸の使い方） ・掃除 ・身だしなみを整える		
	運動・感覚	・姿勢の保持 ・微細運動など指先を使用した活動（ビーズ通し、ファスナーやボタン掛けの練習、プットイン等）の提供 ・季節に合わせた創作活動や工作活動への取り組み（のり付けやペンをを使用した活動） ・公園や事業所前広場での身体を使った活動を提供 ・小麦粉ねんどでの感覚遊び等、様々な感触を経験する。 ・感覚の特性に対する環境調整 ・個別に合わせた自立課題		
	認知・行動	・タイムタイマーを使用し活動の始まりと終わりを知らせる。 ・全体または個別のスケジュールを提示し、活動に見通しを持たせる。 ・写真や絵カードを使用しながら、ルールやマナー、約束ごとを伝える。 ・行動障害への予防及び対応（部屋を分ける、パーテーションを使用しての環境設定） ・学習の時間を設定し、本人のスキルに合わせた学習プリントを準備、提供		
	言語 コミュニケーション	・本人の気持ちを代弁し他児とのやり取りの仲介、適切な言語の使い方等適切なコミュニケーション方法を身につける。 ・発語を増やす。 ・挨拶や感謝の言葉を言えるようになる。ことばと経験を結びつける。 ・学習支援（学校の宿題の支援） ・写真や絵カードの活用、マカトンやジェスチャーを使用し相手に気持ちを伝える。気持ちや要求が伝わった時の楽しさを知ってもらう。		
	人間関係 社会性	・外出活動、学童クラブの子どもたちとの交流活動の場の設定 ・スタッフや他児との関わりを通してやり取りを楽しむ ・相手との適切な距離や気持ちを知る。 ・集団活動を通して、他児との関わり方やルール、マナーを知る。 ・集団活動の中で役割（得点係、挨拶係等）を持ち活動に参加する。 ・本人に合わせた集団（小集団）の形成と遊びの提供		
地域支援・地域連携 （地域交流）		・学童クラブの子どもたちと交流する機会を設ける（クリスマス会、夏まつりへの参加など） ・土曜日や長期休みには地域施設を利用 ・相談支援事業所や他事業所等関係機関との連携 ・学校との面談や支援会議への出席		
移行支援		・地域の施設（公園や図書館、体育館等）を利用した活動を行う。 ・地域のお店や他事業所等へ行き買い物を行う。 ・ライフステージ移行時の情報提供や移行支援会議の開催。		
家族支援		・自宅送迎時やお迎えの時に、事業所での活動の様子を伝えたり自宅での様子を聞きながら情報を共有する。 ・希望があれば電話での相談対応や、自宅を訪問した際に話を聴き必要時にはアドバイスを行う。 ・兄弟姉妹を含めた家族の困りごとやご本人の支援方法について相談に対応する。 ・保護者の就労やレスパイトのために時間外や延長支援を行う。		
職員の質の向上		・各種研修受講（強度行動障害者支援者養成研修、発達障害支援者育成研修、発達支援研修等） ・事業所内研修（虐待防止研修、身体拘束等適正化研修、感染症・災害対応研修） ・他事業所見学 など		
主な行事等		・買い物、調理活動 ・外出活動（買い物、地域施設の利用等） ・季節行事（夏祭り、クリスマス会等）		